

SSKW

2002年4月23日第三種郵便物認可（毎月3回5の日発行）
2006年3月8日発行 SSKW 増刊通巻第657号

海から海へ

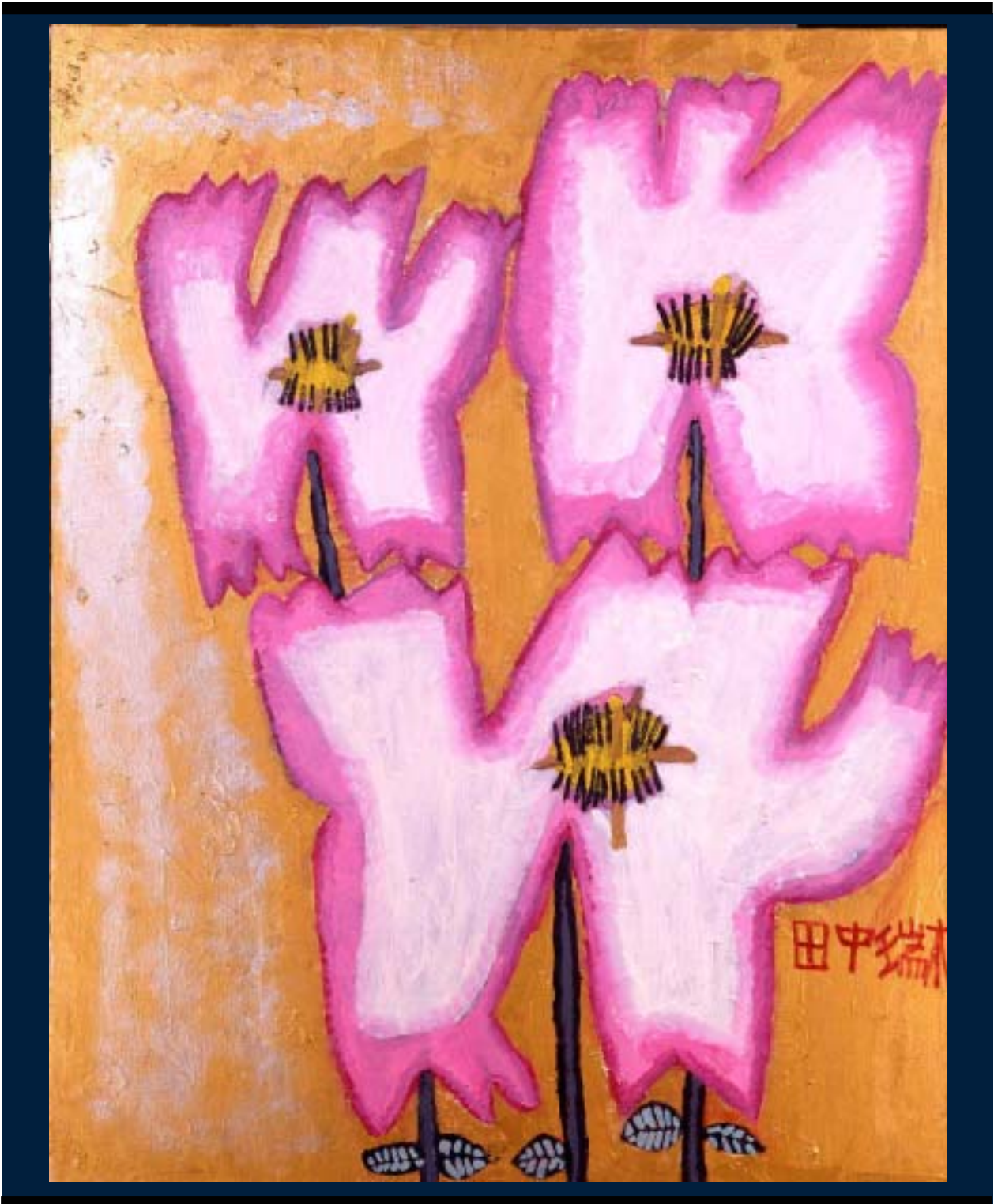
No.9 2006.3.8 【編集人】

特定非営利活動法人 海から海へ

〒182-0024 東京都調布市布田1-43-3
オリエントマンション108 うつわ和季内

TEL & FAX 0424-41-2958

<http://umi.or.jp> office@umi.or.jp



さくら Cherry Blossoms 1167x910(mm) © Mizuki Tanaka 1996

海から海へ は、瑞木さんの60余点の絵がいつでも誰でも見られるように
みずき美術館を設立する準備をしています。ご協力をお願いします。



展覧会を企画、実行して下さったスクールカウンセラー
渡部正先生のお話

本校で、出前ミュージアムが実現したことをうれしく思います。校長先生はじめ学校の先生方もひじょうに感謝しているところです。教職員、生徒、保護者、千葉県内のスクールカウンセラーの方々が観て下さいました。瑞木さんは20年間に64点を制作。夢は「みずき美術館」を設立し館長になることだそうです。応援の輪が次第だいに広がっていることを私は感じます。ぜひ実現してほしいものだと思います。応援したいと思います。



生徒さんの感想

- とても力強い絵で心に残りました。
- 思いがけなく素晴らしい絵を見せていただきました。
- 明るい絵で気持ちが伝わる気がしました。
- 「春」の絵がとても明るくて好きです。
- うさぎの絵がかわいくてよかったです。動物の絵がいいです。

- 今日来ると「春」の絵に心魅かれました。(2回目)
- お城って言う絵がかわいくて好きかも・・・。
- ネコの絵がかわいかった。
- 「春」という絵がすごく迫力があつた。
- 独特な作品でした。
- すてきな作品でした。春が特に好きでした。
- これらの絵を見ていると自分も絵を描きたくくなりました。
- とても素敵な作品で、心が洗われるようです。「ふたりの海水浴」が印象に残りました。
- 画いっぱいダイナミックで明るい作品に元気をいただきました。
- 自由だけどどこか力強くて明るい作品で感動しました。
- とても温かい気持ちになりました。
- 絵をかけることが羨ましくなりました。ありがとうございました。
- 「春」という作品がよかったです。
- 「ノンちゃんとブルちゃん」がすごくきれいでよかったです!!
- 「よそのとり」がすごくすてきでした。
- どの作品も色彩がすばらしいと思いました。おしるとよそのとりがすてきです。
- たくさんの作品をみせていただきました。印象深い絵ですばらしいです。
- すばらしい絵を見て感動しました。
- ヨットの色使いがすてきでした。
- 花がすごくきれいに「春」で表現されていてすてきでした。
- 「春」の花と「よそのとり」っていうのがとても気に入りました。
- 障害があるのに趣味を生かしてがんばっているのが伝わってきました。
- すごく魅力的な絵ばかりでステキでした。
- 障害のある人でも、夢を持って前進しているんだと思った。勇気ももらった。
- ヨットの絵がステキでした。



作品を鑑賞する中学生たち

子育て家庭支援 シンポジウム

2006年3月26日(日) 午後2時~5時
電気通信大学創立80周年記念館3階フォーラム

平成17年度社団法人生命保険協会
子育て家庭支援活動助成事業



日常の子育てにおいては、子どもと子どもに連なる自分を、無理をするのではなく、ありのままに受け入れることが大切です。本来もっている力やよいものに気づき、それらを伸ばし育てることは、親や家族に限らず誰にとっても大事と思

います。それぞれが多様な価値に気づき、それぞれの生き方や役割を認め合い、支え合うことができれば、どんなにすばらしいことでしょう。



本シンポジウムでは、このようなことについて、経験のある人や専門家と対話をします。子育てについて悩みをもっておられる方、気になる子どもや障がいをもつ子どもの親御さん、ご家族の方、どなたでもおいでいただけます。

パネラーには、障がい当事者として白井隆之氏(燦葉出版社社長、海から海へ理事)、家族として青木道代氏(共に歩むネットワーク主事、童話作家)、専門家として飯田緑氏(国士舘大学非常勤講師、臨床心理士)をお迎えします。本法人副理事長の阿部愛子氏(こころとふくしの研究所所長、臨床心理士)は、指定討論者として議論を深めます。

こうありがたいという思いと現実との違いに遭遇すると、人は驚いたり、希望を失ったりします。そのようなとき、受け止めてくれる人がそばにいて、考えたり実践したりする自分自身の



力に気づけば、そこから新しい歩みが始まり、新しい世界が開けていきます。本シンポジウムでは、前向きな人生を歩むことをともに学び、支援へつなぐ機会としたいと思います。

会場は、新宿から特急電車で15分、

京王線調布駅下車徒歩約5分の便利なところ。参加費は無料です。手話と要約筆記もご用意しております。詳細は付録のチラシをご覧ください。

必要な方はお車でおいでいただくことも可能です。小さいお子様は保育士がお預かりします。(要事前連絡 090-4918-8852) 多くの方々のご来場をお待ちします。

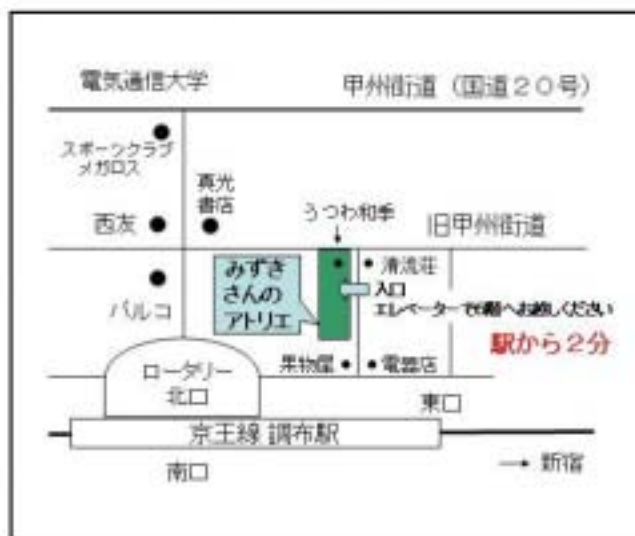
みずき美術館をはじめるために —作品展示しています—

3/8~5/31 はアトリエにて次の作品を展示しております。どうぞお気軽にお出かけください。

タイトル	サイズ(mm)	制作年
24. 出沢さんとわたし	606x500	1990
25. テニス	606x727	1991
26. サッカー	606x727	1991
32. 泰三ちゃんと紘子ちゃん	727x606	1992
40. ねこの原っぱ	1303x1620	1994
43. やぎたちの午後	910x1167	1995
44. バーベキュー	606x500	1996
45. 七羽のうさぎ	727x910	1996
53. ブランコ	1167x910	1998

火・水・土 13:00 17:00 open
(月・木・金・日・祝 closed)

4月からのスケジュールは変更になります。ホームページ(<http://umi.or.jp>)または電話(0424-41-2958)でお確かめください。



調布市布田1-43-3 オリエンタマンション 601 Tel 0424-41-2958

お礼とお願い

日ごとに春めいてまいりました。皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本法人は、皆様のご支援ご協力をいただき、今年度以下の活動をしてまいりました。

- ✦ 会報 No.7, 8, 9 の発行
- ✦ 出前ミュージアム(市内8箇所、市外1箇所)
- ✦ 談話会開催(5月「美術館～次の時代の始まり」)
- ✦ 展覧会開催(7月調布市市民活動支援センター「あくろす」、8月新潟県南魚沼市「夢草堂」)
- ✦ 展覧会出品(8月障害者総合美術展、11月アートビリティ大賞展)
- ✦ シンポジウム開催(6月「愛のあるコミュニティへ向けて」、3月「子育て家庭支援」)
- ✦ 相談支援(随時) 地域交流会(随時) 臨床心理勉強会

来年度は、アートを媒介とした社会文化活動の拠点となる美術館建設へ向け、さらに活動を発展させて参ります。美術館は、子どもからお年寄りまで、誰もが気軽に訪れることのできる場所にしたいと思います。絵を観ることに加え、たとえば

- ✦ 気軽にくつろげる交流スペース
- ✦ 自由に制作できるアトリエ
- ✦ 陶芸、絵画、ダンスなどのワークショップスペース
- ✦ 展示スペース
- ✦ いつでも誰でも自由に話ができる相談室
- ✦ 情報コーナー(ライブラリ)

などを考えています。

年度の終わりにあたり、皆様からいただきましたご支援ご協りに厚く感謝申し上げます。来る4月からの2006年度会費納入をよろしくお願いたします。

特定非営利活動法人 海から海へ
理事長 阿部公輝

年会費

正会員 3,000 円以上
協力会員 1,000 円以上
賛助会員(団体) 30,000 円以上

振込先

郵便振替の場合：00110 - 0 - 684539
銀行振込の場合：みずほ銀行 調布支店
普通預金 8082621

口座名称(どちらの場合も)：

特定非営利活動法人 海から海へ



きものを着た由紀ちゃん Yuki Dressed in Kimono
727x606(mm) © Mizuki Tanaka 1992

編集後記

毎月曜日、中央自動車道を走り山梨県内の仕事場へ行く。ある日、紅葉の美しさに見とれて出口を通り過ぎた。次の出口までいると思った。はじめは段々こういうことも多くなるかもしれないと落ち込んだ。しかし、しばらくすると、こういうことをする自分に感動が生まれてきた。過度にまじめに考え行動する自分についての新しい発見だった。

近頃、中央自動車道は霞がかかっている日が多い。水分が多い春の空はあたりをやさしく包んでいる。眺めながら、作業所にいる娘を思い起こした。

今日、会報ができた。うれしいことはあちこちにいっぱいあると思うようになった。また、うれしい。(愛)

特定非営利活動法人 海から海へ

<http://umi.or.jp> office@umi.or.jp

2006年3月8日 海から海へ No.9

編集責任者 阿部公輝

〒182-0024 東京都調布市布田1-43-3

オリエンタマンション108 うつわ和季内

Tel & Fax 0424-41-2958

発行所 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価 200 円

無断転載禁止